

ちとせ・まち魅力検定  
2022 マスター  
問題用紙

令和4年6月19日

ちとせ・まち魅力検定実行委員会

問題1 次の文を読んで問いに答えなさい。

千歳川は、千歳市、①札幌市、伊達市の境界にある（ 1 ）岳からはじまり、環境省の湖沼水質測定結果で全国1位に（ 2 ）回輝くなど透明度が高い支笏湖を経て、江別市で石狩川に合流する長さ（ 3 ）キロメートルあまりの河川です。江戸時代に蝦夷地（箱館）奉行の（ 4 ）がこの地を千歳と命名する以前から、毎年秋には、たくさんのサケやマスが遡上しています。

アイヌの人たちは、自然と共存する生活を送り、川を守る水の神に感謝して（ 5 ）の儀式を行いました。江戸幕府は、川沿いに4か所の（ 6 ）を置いてアイヌの人たちと交易をし、ここでは、蝦夷地で初めて（ 7 ）銭が使われました。

明治時代になると、サケやマスの人工ふ化事業を行うため、北海道庁水産課長の（ 8 ）によりふ化場が設置されました。上流では、千歳川の豊かな水資源に注目した（ 9 ）が発電所を建設し、苫小牧の工場へ電力を供給しています。

大正15（1926）年には、札幌と千歳、苫小牧を結ぶ（ 10 ）が開通しました。これを利用してふ化場見学などを行う（ 11 ）を計画した小樽新聞社は、千歳村の人たちの昼食のもてなしの申し出に感激し、（ 12 ）が操縦する北海第1号機を千歳に着陸させ、これが千歳の飛行場づくりの一步となりました。

千歳川支流の内別川は、市民の貴重な飲み水となっており、ナイベツ川湧水は、環境省の（ 13 ）に選ばれています。（ 14 ）株式会社北海道千歳工場では、この水を使ってビールや発泡酒を製造し、道内各地に出荷しています。

千歳川は、平成24（2012）年に（ 15 ）省の水質調査ランキングで1位を記録しました。この川では、夏になるときれいな水の流れに生息し、梅の花よりひと回り小さな花を咲かせる（ 16 ）が日本で初めて発見・採取されました。支笏湖では、支笏湖漁業協同組合が支笏湖産ヒメマスの名称を「支笏湖（ 17 ）」に統一し、ブランド化に取り組んでいます。

このように千歳川や支笏湖の良質で豊かな水資源は、千歳の歴史や空港、産業など、まちの形成と大きな関わりがあります。

問1 （1）～（17）にあてはまるものを書きなさい。（各2点）

問2 千歳市が隣接する4市4町について、下線①の2市以外の市町を6つすべて書きなさい。（順不同・完全解答2点）

**問題 2** 千歳市における産業別の事業所数と従業者数（民営事業所）の特徴について次の問いに答えなさい。

問 1 特徴についてあてはまるものを記号で答えなさい。（2点）

- ア 事業所数は、生活関連サービス・娯楽業がもっとも多い。
- イ 宿泊・飲食サービス業の事業所数の構成比は、道内平均よりも高い。
- ウ 従業者数は、医療、福祉がもっとも多い。
- エ 製造業の従業者数の構成比は、道内平均よりも低い。

問 2 問 1 の理由についてあてはまるものを記号で答えなさい。（2点）

- ア 観光地支笏湖や空港利用者が利用するホテルが多いため。
- イ 機能や施設が充実した基幹病院を中心に地域の医療・福祉が充実しているため。
- ウ 国内最大級のレンタカー事業所が集積しているため。
- エ ホトニクスバレープロジェクトにより地域内の企業のIT化が進んでいるため。

**問題 3** 次の文を読んで問いに答えなさい。

J R 千歳駅から東へ1キロメートルの距離にある道の駅（ 1 ）に隣接し、一般社団法人日本海さけ・ます増殖事業協会が遡上するサケを捕獲するため設置している（ 2 ）は、通称（ 3 ）と呼ばれ、千歳の秋の風物詩として知られています。

また、①国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所千歳さけます事業所では、平成6（1994）年に明治時代のふ化室を再現した施設が建設され、サケの一生を学習することができます。

問 1 （1）～（3）にあてはまるものを書きなさい。（各2点）

問 2 下線①の施設の現在の名称を記号で答えなさい。（2点）

- ア サケのふるさと千歳水族館
- イ 千歳川サーモン博物館
- ウ 千歳サーモン科学館
- エ 千歳さけますの森さけます情報館

**問題 4** 令和3年7月に登録された、キウス周堤墓群を構成資産に含む世界文化遺産の名称を13文字（・を含む）で書きなさい。（2点）

問題5 次の文を読んで問いに答えなさい。

令和3年度の千歳市内高等学校全日制の大学等への進学率は（ 1 ）パーセントで、産業別就職先は第3次産業がもっとも多く（ 2 ）パーセントとなっています。

公立千歳科学技術大学では（ 3 ）学部と大学院（ 3 ）学研究科があり、北海道千歳リハビリテーション大学では健康科学部リハビリテーション学科を設け、（ 4 ）士や（ 5 ）士を養成しています。

千歳市では、⑥スポーツ宣言を行うとともに、青葉公園や⑦青空公園に社会体育施設を設け、四季を通して市民が快い汗を流して健康づくりができる生涯スポーツの振興を行っています。

問1 （1）と（2）にあてはまるものを記号で答えなさい。（各2点）

ア 66.4                      イ 74.3                      ウ 80.2                      エ 92.1

問2 （3）～（5）にあてはまるものを書きなさい。（各2点。（4）と（5）は順不同）

問3 下線⑥のスポーツ都市宣言の4つの目標に書かれていることを記号で答えなさい。（2点）

- ア 次代を担う青少年のため、地域にも職場にも、スポーツの機会をつくりましょう。
- イ 心身をきたえスポーツを楽しみましょう。
- ウ スポーツを通じて世界平和を目指しましょう。
- エ みんながスポーツのできる場をつくりましょう。

問4 下線⑦の青空公園にある社会体育施設をすべて記号で答えなさい。（完全解答2点）

- ア 開基記念総合武道館
- イ スケート場
- ウ 野球場
- エ ふれあいセンター

問題6 次の表の（1）～（4）にあてはまるものを、仮名づかいを含め正しく書きなさい。（各2点）

施設等の正式名称	愛称
千歳市休日夜間急病センター	（ 1 ）
千歳市民活動交流センター	（ 2 ）
移動図書館車	（ 3 ）
千歳市防災学習交流センター	（ 4 ）

**問題7** 千歳市自然環境保全地区について、次の表の(1)～(3)にあてはまるものを書きなさい。(各2点)

名称	区分	面積	所在地
(1)川河川 区域ほか	第1種自然環境保全地区	18.4ha 13.6ha 4.3ha	千歳市蘭越(第四発電所の下流400mからふ化場橋、烏柵舞橋、内別川合流地点までの河川区域)
(2)公園	第2種自然環境保全地区	102.3ha	千歳市真町
(3)及び 内別川流域	第1種自然環境保全地区	143.3ha 62.0ha	千歳市蘭越

**問題8** 次の文を読んで問いに答えなさい。

千歳市の子育て支援は、①3つのセンターを中心に各種事業を実施しているほか、(1)を配置してサービス利用の支援や「傾聴」と「協働」による寄り添い型の支援を行っています。

問1 下線①の3つのセンターの名称(愛称可)を設置の早い順に書きなさい。(各2点)

問2 (1)にあてはまるものを書きなさい。(2点)

**問題9** 次の文を読んで問いに答えなさい。

千歳小学校は、明治12(1879)年に(1)として開校しました。児童数が増加した昭和16(1941)年や昭和26(1951)年には、授業を低学年と高学年に分けて行う変則形態である(2)が行われました。昭和37(1962)年には、体育館の建設工事が遅れたため、卒業式が(3)で行われました。

千歳第二小学校は、大正9(1920)年に千歳尋常小学校までの冬期間の通学が困難なため(4)を開設したことにはじまります。大正13(1924)年に(5)となり、千歳第二国民学校を経て、現在の学校名となりました。

千歳第三小学校は、昭和23(1948)年に開拓者の子どもの教育の場と開校しましたが、当初、低学年だけが在籍し、高学年は(6)小学校に通学していました。その後昭和43(1968)年に閉校し、(7)小学校に統合されました。

問1 (1)～(7)にあてはまるものを書きなさい。(各2点)